



わたうち

〔令和7年度 学校スローガン〕

全員が「よりよくなろうとする力」を発揮！誰一人取り残さず「わくわく」があふれる綿打中学校

令和7年12月5日

No.17

太田市立綿打中学校



人権講演会

夢への挑戦～努力し続ける大切さ～



12月1日（月）5校時、人権講演会を行いました。講師には、SUBARU 所属の唐澤剣也選手をお招きしました。唐澤選手は、東京パラリンピックとパリパラリンピックの陸上5000メートルで見事銀メダルを獲得し、今年9月に行われたパラ陸上世界選手権では、2度目の優勝を果たしています。視覚障害をもちながらも、夢に向かって粘り強く練習を重ねた結果、世界で勝負する一流アスリートとしてご活躍なさっています。

「夢への挑戦～努力し続ける大切さ～」という演題で、貴重なお話を聞くことができました。お話の中で「視覚障害の人にみんなができることって何だろう？」と問いかけてくださいました。新しい気づきがたくさんありましたね。ずっしり重い銀メダルと金メダルを触らせていただき、生徒の皆さんも感激したことでしょう。

「努力し続けて、応援してもらえる人になろう」というお言葉が心に残りました。

次のロサンゼルスパラリンピックでのご活躍も祈っています！

以下に生徒の感想を紹介します。



メダルの重さにびっくりしました！
努力の結晶ですね！

「電車で席が空いていてもわからないから、声をかけて教えてほしい」という願いが心に残りました。コンビニなどで視覚障害のある人を見かけたら、自分ができる限りの手助けをしたいと思います。(Sさん)

自分は目が見えるので、障害がある人にガイドランナーのように、サポートしたいです。(Yくん)

個人の小さな思いやりが社会を成り立たせるような世の中になるといいなと思いました。「応援される人」になるため、日々のちょっとした行動も見直していきたいです。(Oさん)



メダルをかけた瞬間、胸が熱い感じがしました。

私が印象に残っているのは、「頑張れば目標に届かなくても近づくことはできる」という言葉です。これまで、目標に届かないなら、努力しても意味ないのではと思っていたので、ハッとしました。やりたいことに向かって精一杯努力するのは無駄ではないのだと感じました。(Oさん)

僕たちは多くの困難に出くわし、そのたびに苦悩すると思いますが、今日の講話で学んだことを思い出し、常に前を向いて頑張っていきたいです。(Fくん)

目が見えなくても、ガイドランナーの方と心をつなげて金メダルを取りに行く姿に感動しました。(Tくん)



はりきって、保育実習！こども園訪問！

3年生は、11月27日にわたうちこども園と認定こども園わたっこで保育実習を行いました。

家庭科の授業の一環として行った保育実習ですが、キャリア教育にもつながる体験になったことと思います。皆、小さい子どもたちの目線で、優しく語りかけていましたね。中学生のお兄さんやお姉さんに遊んでもらい、子どもたちも喜んでいました。

保育の仕事に興味をもった人もい
ることでしょう。いつか皆さんが、
親になったときに、3歳児・4歳児
・5歳児の発達について、思い出し
てほしいと思います。



自分か通っていた園に
行った人もいました。
大きくなった姿を見て
先生も驚いたことでしょう！



はりきって、福祉体験！愛光園訪問！

12月3日（水）に、まずは1Aの皆さんが愛光園を訪問しました。利用者の皆さんに喜んでいただけるよう、手作りのゲームやクイズを準備していきました。このあと1Cは12月9日（火）、1Bは12月12日（金）に訪問します。

輪投げ、魚釣り、ペットボトル倒し、風船輪くぐり、的当て、ジェスチャークイズなど、工夫を凝らした企画で、利用者の方々と楽しい時間を過ごせるといいですね。

“人のために役に立つ仕事に、やりがいや楽しさを感じることでしょう。この福祉体験も貴重な進路学習のひとつになります！”



図書室のカウンターに、人権に関する本が置いてあるのを知っていますか？ぜひ手に取って、読んでほしい本です。

つい忘れてしまいがちな「人権」の大切さ。人権週間は、その大切さについて、改めて考えるときです。